



東京学芸大学附属高等学校
Tokyo Gakugei University Senior High School

第11回

授業実践研究会 【生成AI・教育工学】

生成AIが変える教育の可能性～東京学芸大学附属高等学校での試み～

「生徒も教師もワクワクする授業づくりを…」

「大人が真剣に教育を語り合える場を…」

この2つのテーマをスローガンに、現代の教育課題を共に学んだり、

その改善に向けて議論をしたり、未来の教育について考える場を

つくりました。

2024年6月19日(水) 15:45～17:15

開催趣旨

生成AIは教育の現場に革新をもたらす可能性を秘めた技術です。本校でも生成AIの可能性を探究し、どのように授業に取り入れることができるかを議論し始めた段階です。本研究会では、これまでの実践を紹介しながら、皆さまと生成AIの教育活用について考えていきたいと思います。

なお、本研究会は本校保護者に対して本校の取組を紹介するために公開致します(ただし、保護者からの発言などはありません)。また、事前に右記のリンクから本校の1to1(1人1台PC)プロジェクトについての動画(3種類)もご覧頂けます。



QRコードをクリックしても動画をご覧いただけます。

スケジュール

15:30～Zoomルーム立ち上げ

15:45～オンライン研究会開始

- ・開会式
- ・趣旨説明・学校全体の動き
- ・生成AIについての授業実践
- ・生成AIを活用した授業実践
- ・質疑応答
- ・閉会式

17:15 オンライン研究会終了

本校からの実践紹介

生成AIを問う、そして問われる

生成AIと人間の差はどこにあるのか
～プラトン哲学の問いの射程の中で～
(公民科・山北俊太郎)

「なぜ数回しか見たことのないしまうまの絵を私たちは描けるのか」。生成AIにも絵を描かせながら、人間とは何かを生徒に問う。古代ギリシアの哲学が、生成AIの時代の中で、アクチュアルな問題として立ち上がる。

生成AIでデータ集め

データの性質を“実感”するために
(数学科・木部慎也)

数学Bの「統計的推測」において、各自が作り出したデータに対して確率変数や二項分布の性質を考察する授業実践を行った。サイコロを振った結果を大量に準備するために教員のデバイスを通して生成AIを活用した。

生成AIでプログラミング教育

生成AIで変わるプログラミング教育とその課題
(情報科・飯田秀延)

生成AIの進展により、効率化や新アイデア創出が実現され、特にプログラミング分野でノーコード開発が可能となった。今回は、Processingを使った授業に生成AIを導入する効果と課題を考察する。

参加申し込み・お問い合わせ

参加申し込みは、右のQRコードをご利用いただくか、本校HPの「研究・研修」のページから必要事項をご入力ください。



東京学芸大学附属高等学校

〒154-0002 東京都世田谷区下馬4-1-5

TEL:03-3421-5151 FAX:03-3421-5152

HP: <http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/>